

令和4年度

子ども大学ひらつか

秦アカデミー東海大学

平塚市民・大学交流委員会(文化・生涯学習推進部会)事業

—開催報告—

<開催概要>

【開催日時】 令和4年11月26日(土) 午前の部10:30~12:00 / 午後の部14:00~15:30

【会場】 東海大学湘南キャンパス19号館 301A・B教室

【参加者数】 市内小学校4~6年生 54名 (午前の部26名 / 午後の部28名)

【参加費】 無料

【開催数】 11回目 (平成23年度より毎年1回実施)

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

<開催の様子>

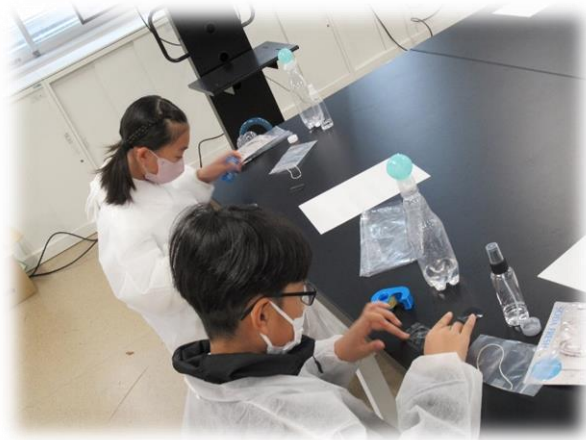
家でも楽しめる天気の実験



【講師】岡田 工教授(理系教育センター)

前半はペットボトルの中に雲を作る実験を行いました。この実験を通して、どのように雲ができるのか、なぜ浮いているのかについて学ぶことができました。後半は、ペットボトルを利用して、竜巻を起し、竜巻の原理について学ぶことができました。子どもたちは休憩時間でも、雲を作ったり、竜巻を作ったりと楽しそうにしていました。

光の実験と偏光板を使った楽しい工作



【講師】スチューデントアチーブメントセンター チャレンジプロジェクト サイエンスコミュニケーター

子どもたちに科学の楽しさを伝えるために活動している学生グループが講師を務めてくださいました。普段あまり接することの少ない大学生と触れ合うことで、自分の将来の姿を思い浮かべた子もいたのではないのでしょうか。光の色について、クイズ形式で楽しく学ぶことができました。後半は、偏光板という不思議な板を使った工作を行いながら、光の不思議な現象を体験することができました。

「子ども大学ひらつか」は、子どもの知的好奇心や感性を育てることを目的に開催しています。

東海大学では理科実験をテーマに、大学教授・大学生の皆様がそれぞれ工夫を凝らしたメニューで子どもたちを迎えてくれました。

普段体験できない大学の教室という充実した環境で学んだ経験が、参加した子どもたちの今後に活かされることを期待します。

<参加者の声>

参加者アンケート より

- ・雲や竜巻を作るのが楽しかった。
- ・知らなかったことを知ることができて楽しかった。
- ・ステンドグラスを作るのがおもしろかった。
- ・大学生の人がやさしく教えてくれたので、いろいろなことがわかりました。
- ・今回教えてもらった実験を、家でもやってみたいと思った。
- ・最近理科が嫌いで苦手になったけど、理科の楽しさやおもしろさを感じ出せました。
- ・また参加したいです。

…など

保護者アンケート より

- ・小学校では学べないことを、大学生に教えてもらえて、双方にとって良い学びの時間だと思います。
- ・大学という将来行く場所で、学校とは違う環境で、同学年の仲間と体験できるのはとても良いと思います。
- ・実験を通して楽しく学ぶことができて良かったです。
- ・子どもにとっても良い体験になったと思います。
- ・大学に来る機会がなかなかないため、施設を見ることもできて良かったです。

…など

(お問い合わせ)
平塚市教育委員会社会教育課社会教育担当